

令和7年度 体力向上における各校の取組みと成果(小学校)

勝山市 教育委員会

No	学校名		項目	具体的な取組み	成果
1	平泉寺	小学校	児童生徒の運動習慣の育成について	器械運動発表会の前には、鉄棒や跳び箱、マットを常設し、業間の時間を活用し、全校を挙げて練習に取り組めるような環境づくりをした。	低、中学年が高学年の技を見て、鉄棒の新しい技ができるようになったり、何度も挑戦して、昨年跳べなかった跳び箱6段ができるようになったりした児童が増えた。
2	成器南	小学校	その他	委員会企画(おにごっこ、バレーボール、ドッジボール)	学期ごとに委員会で企画した鬼ごっこ、バレーボール、ドッジボールを行った。教員も一緒に活動することで、普段教室で過ごす児童も体育館に集まり、クラス一丸となって楽しむ姿が見られた。
3	成器西	小学校	児童生徒の運動習慣の育成について	週2回のマラソン運動の意欲をはかるため、マラソンカードをクリアした児童を表彰する賞状を用意した。	マラソンカードをクリアする児童が増え、特に低学年は意欲的に走ることができた。
4	村岡	小学校	本校の体力向上の取組みについて	毎週火曜日と金曜日に実施している業間体育。	学校全体で業間体育を実施することで、休み時間に教室で過ごすことが多い児童の運動機会を増やすことができた。
5	三室	小学校	児童生徒の運動習慣の育成について	鉄棒パワーアップ週間を設け、業間・昼休みに、1週間の予定で体育館に設置した室内用高さ調節式鉄棒で鉄棒の練習に取り組んだ。	体育の授業だけでは練習が不十分で、休み時間にも練習する児童が多かった。鉄棒パワーアップ週間を予定より1週間延長し、鉄棒を長く設置したことで、続けて練習をし、できなかった技ができるようになった児童が多かった。
6	野向	小学校	その他	陸上競技や器械運動、クロスカントリースキーなど、行事の前には放課後練習を行って、技能の向上に努めた。	放課後練習は自由参加だが、ほぼ全員が参加し、意欲的に取り組んだ。クロスカントリースキーでは、市の大会に参加した11名のうち10名が入賞を果たすなど、技能が向上した。

7	荒土	小学校	児童生徒の運動習慣の育成について	時間走、短距離走、なわとびを中心として、業間の時間を計画的に活用し、持久力、瞬発力の向上を図った。	昨年度は業間体育を実施する期間を限定したが、今年度は7月以外毎月行った。昨年度よりも外で遊ぶ児童や、縄跳びに親しむ児童が増え、業間以外の時間も運動する児童が増えた。
8	鹿谷	小学校	児童生徒の運動習慣の育成について	縄跳びで異学年同士でペアを作り、業間の縄跳びの時間にそのペアで練習した。	高学年が低学年に跳び方を教えたり、低学年の前でお手本を見せたりと頑張っていた。高学年、低学年ともに技能や縄跳びに対する積極的に取り組む姿が多く見られた。
9	北郷	小学校	本校の体力向上の取り組みについて	業間運動として火曜と木曜に「郷GOスポーツタイム」を設定し、全校で5分間走や縄跳びなどに取り組んだ。縦割り班での活動を多く取り入れ、高学年がリーダーシップをとれるようにした。	マラソン大会が終わっても5分間走を継続したことで、体力向上だけでなく、普段の遊びでもよく運動する児童が増えた。また、縦割り班で取り組んだことで、異学年交流や運動を楽しむ時間にもなった。